



(前回の永礼さとみさんから)

- 萩原 勇一
(はぎはら ゆういち)
- 倉敷市玉島爪崎
- 指揮者

熊本県庁に勤務していたが、指揮者への夢を諦めきれず、30歳でくらしき作陽大学音楽学部に入学。2005年3月同大学指揮専修卒業。現在、津山交響楽団、玉野フィルハーモニー管弦楽団、久世エスパス管弦楽団それぞれの常任指揮者を務めるほか、オペラプラザ岡山、邦楽ラボ指揮者、やかげ混声合唱団、笠岡地区消防音楽隊の指揮・指導、作曲・編曲など幅広いジャンルで活動。津山では大変お世話になっています。より多くの皆さんに、合奏音楽の醍醐味を味わって欲しいです。



津山交響楽団練習風景

アーティストバトン No.23

毎回、アーティストが、お友だちつながりで登場します。

津山の歴史的人物をめぐるシツカブリ男とシャキシャキ女の会話

コラム

「俳人・金子兜太」

自由精神とその後

佐野綱由

平成22年11月5日朝、金子兜太先生(当時91歳。ことし93歳で、ますますお元気)は、埼玉県熊谷市のご自宅から岡山県津山市をめざして出て来られた。翌日の国民文化祭津山俳句大会の講師をお願いしているのだった。岡山駅西口に津山市の議長車でお迎えに上がった。息子さんが、随行されている。ご案内役は、佐野。道々、にぎやかに雑談した。

金子 日蓮宗不受不施派は、確か岡山県に総本山があるって聞きましたが、そでございしたね？

佐野 そのとおりです。

金子 餓死して殉教した人が四人いたそでうですね。

佐野 よくご存じですね。

金子 私の友人に不受不施派を研究しているのがおりましてね。教えてもらったんです。

佐野 総本山は、いまは岡山市になっていますが、旧御津町金川にあり、妙覚寺といえます。国道53号線の金川にさしかかった所で、この信号を左手の道に入って、ちよつと行ったところにあります。さすがに賽銭箱が一つも置いてありません。お寺では、他に例がありませんね。殉教した場所は、津山市内です。

金子 へえーっ、津山でございましたか。…車が久米南町にさしかかり、川柳のまちと書いてあるのを先生は見つけて…ここは川柳が盛んなのですか？

佐野 はい。今回の国文祭の川柳大会もここで開催されました。そもそも川柳の好きな一人の歯医者さんが呼びかけてから、町民に広まったのが始まりです。三鬼も歯医者ですから、歯医者には文学の好きな人が多いのかもしれないね。

金子 立派な方がいらっしやっただのですね。

：国道53号線誕生寺にさしかかった所で…

佐野 左手の山裾に誕生寺があります。誕生寺は、法然の弟子になった熊谷直実がここを訪れて、法然の生誕地に建てたと伝えられています。

金子 へえーっ、ここでございますか。

佐野 美作国と武蔵国熊谷と、歴史的にも意外な所

でつながりがありますね。

金子 はい。しかし、風景が全く違いますね。

佐野 どう違いますか？

金子 こちらは山が低くて、優しい印象でございませぬ。

佐野 熊谷はどうなんですか？

金子 どっちを向いても、背景にごつごつした高い山がございませぬ。

：国道53号線津山市福田にさしかかった所で…

佐野 不受不施派の四人が殉教したのは、右手のこもりした山の中です。いまではこの派の聖地になっています。

金子 津山からは、三鬼のほかどんな作家が出ていますか？

佐野 川柳の定金冬二が津山の出身です。定金冬二はご存じですか？

金子 知っています。

佐野 俳句では、「曲水」の大谷碧雲居が津山の出身です。

金子 へえーっ、さようでございますか。もちろん碧雲居はよく知っています。

：津山市内に入り、成道寺の三鬼句墓碑を参拝したあと、念願の安東次男の生家と句墓碑(市内沼の丘陵地帯。津山高専の下)にご案内した。

金子 あんづく(安東次男)が、どうしてあんなにいばりんぼうだったのか、ここに来てみて、やっとなかりました。天下を見下ろすような場所に生まれているんですね。句墓碑も同じく天下を見下ろすような眺めのいい場所でございますね。こんな素晴らしい眺めの家に生まれたら、いばりんぼうになるのは当然です。きょうは、なんだかとても納得して、満足いたしました。

このあと、金子兜太先生は、ご長男と二人で句墓碑の周りに落ちているドングリを次々と拾って、うれしそうに、「うちに持って帰って、植えてみます」とおっしゃった。津山と熊谷、あんづくと金子兜太、もし生きついで育っていたら、すてきだ。

(前津山郷土博物館長)